

北斗高等支援学校 く地域で働きながら学び、学びながら働く

# 北斗版デュアルシステム

北斗高等支援学校は、上磯高等学校と校舎を共にする特別支援学校です。「北斗市で学び、北斗市から道南地域へ巣立ち、道南で働き、道南で暮らす人間を育てる」を基本理念に、学校と地域が連携・協力して、生徒たちの成長を支えていく学習活動を進めています。

具体的には、4つの実習の形を設け、3年間で繰り返し取り組みながら、働く力を着実に身に付けていくことができるようにしています。また、実習では、地域の企業や公共施設等に連携を依頼し、実際の現場で働く機会を多くいただいています。働きながら学び、学びながら働きます。



## 校内作業実習

『校内作業実習』は、校内で基礎基本を身に付ける実習です。1年生の場合、6月中旬までは、この『校内作業実習』に取り組みことになります。例えば、ビルクリーニング作業を中心とする「環境・流通サポート科」では、清掃で使用する資機材の扱い方や、基本的な清掃手順について繰り返し学びます。また、身体介助や家事援助の作業を中心とする「福祉サービス科」では、インスタントシニア（高齢者疑似体験）や車いす操作、ベッドメイキングなどの実習を通して、現場で働くための基礎知識を学びます。



## デュアル実習

『校内作業実習』で身に付けた力を実際の現場で生かしながら取り組む実習が『デュアル実習』です。毎週のように北斗市の企業や公共施設において実習させていただいています。実際の現場では、その時々状況に合わせた作業の進め方が必要となるため、実践力を養う貴重な機会になっています。また、職場や住民の方々と身近に接しながら作業させていただくことで、地域で仕事をしている実感を得るとともに、卒業後、働きながら生活することへの意欲にもつながる機会となっています。



## WTW（ワーク・トレーニング・ウィーク）

夏休み明けと冬休み明けの1週間は、集中的に実習だけを行う『WTW（ワーク・トレーニング・ウィーク）』を実施します。将来、一定期間連続して勤務する生活を想定したもので、持続力・忍耐力・集中力を養うことを目的としています。1年生の夏休み明けは、北斗市トマト・キュウリ共同選別施設で、トマトの

箱詰めや運搬に取り組むなど、普段の実習とは異なる作業を体験することにより、個々の適性を見極める機会として役立てています。



## 職場実習

3つの実習で身に付けた力を試すべく、一人で企業に向って行う実習が『職場実習』です。1年生は11月に約2週間、2年生は春と秋に約3週間、3年生は春と秋に約1カ月の期間で実施します。3年生は、就職試験を兼ねた「前提実習」として実施することになります。期間中は、自宅から直接企業に出勤するなど、卒業後の職業生活と同じスタイルでの実施となります。職場におけるルールや仕事の厳しさ、楽しさ、やりがいなどを学ぶことができます。進路選択へとつながる大切な実習となっています。



（北斗高等支援学校 教諭 釘田 芳紀）